

国立曽爾青少年自然の家 バーディー一般	2011	2012	2013		こくりつそにせいしょうねんしげんのいえ バーディー一般	2011	2012	2013	
	7月	7月	9月			7月	7月	9月	
	17-18	15-16	15日	16日		17-18	15-16	15日	16日
	天候 晴/雨	晴	雨			てんこう はれ・あめ	はれ	あめ	
キジ・ハトのなかま					ウグイスのなかま				
1	キジ	○	○	○	35	ウグイス	○	○	
2	キジバト	○	○	○	36	ヤブサメ		○	
ウ・サギのなかま					ムシクイ・メジロのなかま				
3	カワウ				37	メボソムシクイ			
4	ダイサギ				38	エゾムシクイ			
5	コサギ				39	エゾムシクイ			
6	アオサギ				40	メジロ	○	○	○
カッコウのなかま					ヨシキリ・セッカのなかま				
7	ジュウイチ				41	オオヨシキリ			
8	カッコウ	○			42	セッカ	○	○	○
9	ツツドリ				ムクドリのなかま				
10	ホトギス	○	○		43	ムクドリ			
アマツバメのなかま					ヒタキのなかま				
11	アマツバメ				44	ノビタキ			
ミサゴ・タカのなかま					45	イソヒヨドリ			
12	ミサゴ				46	エゾビタキ			○
13	ハチクマ			○	47	サメビタキ			
14	トビ	○	○	○	48	コサメビタキ			○
15	オオタカ				49	キビタキ		○	
16	サシバ				50	オオルリ			○
17	クマタカ				スズメ・セキレイのなかま				
カワセミ・キツツキのなかま					51	スズメ			
18	カワセミ				52	キセキレイ	○	○	○
19	アオゲラ	○	○	○	53	ハクセキレイ			
20	アカゲラ				54	セグロセキレイ		○	○
21	コゲラ	○	○		ホオジロ・アトリのなかま				
ハヤブサのなかま					55	カワラヒワ		○	○
22	チョウゲンボウ				56	イカル	○	○	
サンショウクイ・モズのなかま					57	ホオジロ	○	○	○
23	サンショウクイ			○	58	ホオアカ	○	○	
24	モズ			○	そのた				
カラスのなかま					59	ヒバリ			○
25	カケス		○	○	60				
26	ハシボソガラス	○			61				
27	ハシブトガラス	○	○	○	62				
シジュウカラのなかま					63				
28	ヒガラ		○		64				
29	ヤマガラ	○	○		65				
30	シジュウカラ	○	○		66				
ツバメのなかま					*	コジュケイ			
31	ツバメ	○	○	○	*	ドバト			
32	コシアカツバメ		○	○	合計				
33	イワツバメ								
ヒヨドリ・ウグイスのなかま									
34	ヒヨドリ	○	○	○	20	25	22		

曾爾高原のトンボ科のトンボ



アキアカネ

曾爾高原に多くいるアカトンボはアキアカネです。

このトンボは気温30度を超えると死んでしまうので

夏場は高原等に避難しています。

最近地球温暖化で秋でも気温が下がらずなかなか

生まれた里の田んぼに帰れません。

近年田んぼの変化もあり極端に数を減らしています。



ナツアカネ

曾爾高原ではほとんど見られませんが

ナツアカネはアキアカネによく似ています。

区別するには捕まえて胸の模様を見ます。

3本ある線の真ん中の模様が平に切れているのが

ナツアカネ、とがって切れているのがアキアカネです。

またオスが顔が赤いのもナツアカネです。



ウスバキトンボ

曾爾高原でも確認されているウスバキトンボです。

このトンボは南方系のトンボで冬を越せません。

ですから冬には全て死滅してしまいます。

毎年沖縄以南の熱帯地方から飛んできます。

アキアカネと逆で地球温暖化で冬を越すことが

できれば大量に数を増やすことになります。



ノシメトンボ

アカネ属の最大種のノシメトンボです。

移動能力も高く里山から高山まで見られます。

左の写真のようにトンボ科のトンボは主に

体を水平にしてとまります。

ただし、トンボ科のウスバキトンボは写真の通り

ヤンマ科のトンボのようにぶら下がってとまります。

曾爾高原で出会った生き物たち



名前は、図鑑で調べてみよう!!

自然発見オリエンテーリング



ゲーム・ソング・クイズ大会



「この虫は何かな？」



「この鳴き声の鳥は何？」



雨の中のバードウォッチング

